

(様式1)

平成29年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 001	提案機関名 環境農政局農政部水産課
要望問題名 浮魚礁の効果調査について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 本県では表層式浮魚礁、浮沈式浮魚礁を設置し、回遊性魚類を対象とした漁場造成を行っており、沿岸漁業者の所得向上や定置網の被害軽減に大きく貢献してきた。平成29年度からは表層式浮魚礁、平成31年度からは浮沈式浮魚礁が耐用年数を迎え、更新を行っていくこととしている。しかし、浮魚礁漁場造成に関しては、効果調査をした事例が古く、水産庁に対する費用対効果の説明も厳しくなっている。費用対効果を最近のデータに更新したうえで水産庁に説明することができなければ今後、浮魚礁の更新ができない可能性がある。 そこで、表層式及び浮沈式浮魚礁の効果調査（1基あたり年間どれくらいの回遊性魚類の漁獲があるのか）を実施していただきたい。 なお、浮魚礁については、直接的な効果の他、間接的な効果も大きく漁業者から更新の要望も非常に高いものがあり、行政としてしっかり対応していくことが必要と考えている。この提案に対する検討にあたっては、予算対応が難しいため、水産技術センターの既存の調査事業の中でうまく効果調査までできないかということを含めて検討していただき回答をお願いしたい。	
解決希望年限	<input checked="" type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産技術センター	担当部所	企画資源部（海洋資源担当）
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 高度回遊性魚類資源対策調査		
対応の内容等	「高度回遊性魚類資源対策調査」において、標本船調査を行っているので、その日誌から回遊魚の漁獲データの把握は可能です。 間接的効果として、4基の浮魚礁設置完了後における定置網等でのキハダの漁獲量増加も効果の一つとして考えられるので検討したいと考えています。		
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			